



令和7年度

滋賀の水産

目 次

I	滋賀県の水産業	
1	琵琶湖漁業	
(1)	琵琶湖漁業の特徴	1
(2)	琵琶湖漁業の動向	9
2	河川漁業	
(1)	河川漁業の特徴	13
(2)	河川漁業の動向	14
3	魚類養殖業	
(1)	魚類養殖業の特徴	16
(2)	魚類養殖業の動向	16
4	真珠養殖業	
(1)	真珠養殖業の特徴	18
(2)	真珠養殖業の動向	18
II	滋賀県の水産行政	
1	滋賀県のめざすところ	20
2	現在の取組と成果	
(1)	水産資源の増殖	
(1)-1	琵琶湖漁業	
	迅速な資源評価に基づく資源管理の推進	24
	資源状況に応じた種苗放流の推進	26
	人工河川の運用や適切な資源管理によるアユ資源の安定化	28
	セタシジミの資源回復対策	29
(1)-2	河川漁業	
	河川漁業の振興に向けた種苗放流	30
	河川漁業への理解と関心の向上	31
(1)-3	外来魚駆除・カワウ対策	
	外来魚の駆除	32
	カワウによる漁業被害への対策	35
(2)	漁場環境の再生と漁港整備	
	産卵繁殖・生息場の整備・保全による漁場生産力の向上	36
	漁港施設の機能保全対策による持続的な漁業生産の確保	37
	漁業者と連携した漁場環境の再生活動	38
(3)	水産業の健全な発展	
(3)-1	流通の多角化・強靱化	40
(3)-2	人材の育成および確保	42
(3)-3	本県漁業に対する理解と関心の増進	43
(3)-4	北部地域の振興	44
(3)-5	新産業確立・検証	45

3	令和7年度水産関係予算の概要	
(1)	水産課	46
(2)	水産試験場	48
4	過年度増殖事業実績	49
5	過年度整備事業実績	
(1)	沿岸漁場の整備開発	53
(2)	魚道の整備	59
(3)	沿岸漁業施設の整備	60
(4)	内水面漁業施設の整備	64
6	県の水産関連施設の紹介	
(1)	滋賀県水産試験場	
(1)-1	施設の概要	67
(1)-2	事業・研究の紹介	68
	セタシジミ資源の持続的管理実証事業	70
	外来魚駆除対策研究	71
	養殖場防疫・疾病対策事業	73
	琵琶湖の漁業生産力の評価及び回復に関する技術開発研究	74
	「滋賀の水産業強靱化プラン」推進研究	75
	淡水真珠母貝効率生産実証研究	76
(1)-3	漁業調査船「第10代琵琶湖丸」	77
(2)	醒井養鱒場	
(2)-1	施設の概要	79
(2)-2	事業・研究	80
(2)-3	交通アクセス	81
(3)	人工河川	82
Ⅲ	水産基本情報	
1	漁業制度	
(1)	滋賀県の漁業制度	85
(2)	県内市町別免許・許可状況	89
2	水産統計（琵琶湖漁業関連統計、養殖生産量、漁船勢力）	90
3	水産金融	
(1)	滋賀県水産振興資金	96
(2)	沿岸漁業改善資金	97
(3)	資金別貸付実績	99
4	県内の港湾・漁港・舟溜	100
5	滋賀県の水産概要図	102
6	関係機関・団体	
(1)	行政委員会	103
(2)	県・市町の関係機関	104
(3)	漁業団体	106

は　じ　め　に

滋賀県では、ここ数十年の間で人々の暮らしぶりも様変わりし、琵琶湖や河川周辺環境も大きく変化してきました。内湖やヨシ帯の減少、魚介類に食害を及ぼす外来魚やカワウの異常繁殖、水草の異常繁茂、さらに気候変動により水産生物への影響など様々な問題が起こっています。また、漁業従事者の減少や高齢化、湖魚の消費の低迷など、本県水産業は大変厳しい状況におかれています。

こういった危機的な状況に対応するため、本県では、資源状況に応じた種苗放流、外来魚やカワウなどの積極的な駆除、ヨシ帯や砂地を確保するための漁場環境の整備、水草の刈取り、ゲンゴロウブナなど環境保全型の魚種の放流といった事業を通して水産資源の回復に努めてきました。これらの取組の結果、ホンモロコなどの一部の魚種では資源の状況が回復傾向にあるなど、明るい兆しも見えてきています。

こうした中、新型コロナウイルス感染症のまん延で改めて露呈した既存流通の脆弱性の改善を目的に、漁業組織が流通事業者と連携して新たな販路の検討・実践を行う取組への支援や、経営スキル・販売力の強化といった人材の育成、漁業の担い手を確保するための研修や水産試験場に開設した「水産技術相談窓口」における技術支援を行うなど、引き続き「儲かる漁業」の実現に向けた人づくりも進めています。令和3年度には、漁業のデジタルトランスフォーメーション（DX）により、迅速で詳細な資源評価を進め、琵琶湖の生産力を最大限に活用する資源管理を目指し、漁業者がスマホなどを使って、漁獲量等の情報を簡単に報告できるよう、全国に先駆け滋賀県漁獲報告ウェブアプリ「湖（うみ）レコ」を開発しました。さらに令和4年度は、これまで複雑で分かりづらかった遊漁のルールや漁場の位置を地図上で簡単に知ることができるウェブアプリ「遊漁の電子手帖 FiShiga」を開発しました。

令和4年7月には、琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業「森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」が世界農業遺産に認定されました。このことを好機と捉え、「琵琶湖八珍」やセタシジミなど、琵琶湖のめぐみの消費拡大に向け、食べる機会の創出や情報発信といった様々な事業により一層力を入れるとともに、県内の社食や学食といった食堂での湖魚利用に対して支援するなど琵琶湖の魚を食べる機会を提供し、琵琶湖の食文化の継承を目指す取組も行っています。

また、滋賀県漁業協同組合連合会が中心となり検討を進めてきた沿湖の漁協の合併に向けた取り組みも実を結び、令和6年10月には滋賀びわ湖漁業協同組合が発足し、琵琶湖漁業が新たな一歩を迎えようとしています。

水産課では、滋賀県の魅力ある水産業を取り戻し、本県産の魚介類が皆様の食卓に華やかさをもたらすことを目指して、今後も様々な取組を続けてまいります。

本書は、より多くの方々に滋賀県の水産業について、また、それを取り巻く現状と県の取組について知っていただきたいという思いで作成しました。本書を、多くの方に滋賀県の水産業や琵琶湖について興味を抱き、考えていただくきっかけにいただければ幸いです。

令和8年2月

滋賀県農政水産部水産課長
松田 和浩